

**アークフラッシュ施工された老人施設 6年間インフルエンザの発症が報告されておりません。**

< \* > <http://www.arc-flash.co.jp> **新着施工写真を更新いたしました**

<< ARC-BAND KUWAMAN の誕生日に出演 >>

アークフラッシュの老人ホームなどへの慰問部隊 ARC-BAND が KUWAMAN の誕生日パーティーで演奏を行いました。4/4



ゲストに宇崎竜童、ツノダヒロ、鳥羽一郎などが来ていました。

150人ほどの来場の中、ARC-BAND は約 1時間演奏を行いました。

もちろん、アークフラッシュの笹川もS.SAX で参加しております

<< 感染症情報 >>

石川県輪島市の避難所で下痢や嘔吐 (おうと) の症状を訴える住民が相次いでいる問題で、同県健康推進課は 4日、患者の検体から感染性胃腸炎を発症するノロウイルスが検出された、と発表した。

ウイルスが検出されたのは同市門前町地区の市立門前西小学校に避難している住民 2人の検体。同小では 2日昼以降、これまでに 31人が下痢や嘔吐などの診察を受け、17人が点滴を受けた。また、同地区のほかの避難所 3か所でも 11人が同様の症状を訴えている。いずれも軽症だという

県は各避難所で消毒作業を実施、住民に手洗いやうがいの励行を求めている。

国立感染症研究所の松野重夫・主任研究官 (58) は「避難所生活が続き、高齢者の体力が落ちている。仮設トイレの衛生状態は十分ではなく人口密度が高いなど感染しやすい条件がそろっていて、危険な状態だ」と話している。

**秋田県由利本荘市の施設「県心身障害者コロニー」**(高橋章施設長)で、職員と利用者計14人がノロウイルスに感染したと、9日発表。重症者はいない。3～6日に20代の職員1人と50～70代の利用者13人が下痢やおう吐の症状を発症。うち4人からノロウイルスを検出した

**栃木県健康増進課**は8日、県北保健福祉センター管内に住む男児から腸管出血性大腸菌(O26)に感染したと発表した。男児は3月30日に腹痛や血便を訴え、受診した医療機関から同センターに届出があった。男児は快方に向かっており、感染源を調査している。

**千葉県市原市の市原刑務所**(池田典幸所長)で、受刑者480人のうち127人が食中毒とみられる症状を訴えていたことが9日、分かった。症状はいずれも軽く、快方に向かっているという。市原保健所は刑務所の給食施設を原因施設と断定、使用停止2日間の行政措置とした

**千葉県**は12日、同縣市川市の私立病院で、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生があり、36人が発症し、うち1人が死亡したと発表した。

県疾病対策課によると、同日までに20～70代の入院患者29人と、20～60代の職員7人の計36人が嘔吐(おうと)や下痢などの症状を訴え、うち60代の男性入院患者が吐いた物をのどに詰まらせ、死亡した。ほかの患者はいずれも快方に向かっているという

**千葉県**は16日、市川市国府台の精神科病院「式場病院」で、入院患者ら計76人がノロウイルスによる感染性胃腸炎を発症し、うち患者の男女2人が死亡したと発表。県は病院の対応に問題がなかったかどうかを詳しく調べている。12日に男性患者(60)が、15日に女性患者(69)が嘔吐物をのどに詰まらせ窒息死した。

**米国で半世紀前**にほぼ根絶されたはずのトコジラミ(南京虫)が近年復活、感染報告が急増している。衛生的な先進国で大発生する原因は不明で、「昆虫学最大のミステリー」(サンフランシスコ・クロニクル紙)とも呼ばれる。

同紙によると、サンフランシスコで昨年約300件の南京虫感染が報告されるなど、全50州で発生が確認された。業者に依頼すると、駆除費は住宅1軒で最高5000ドル(約60万円)に上る。

**鳥取県**では感染性胃腸炎を引き起こすノロウイルスが給食調理員から検出されたとして、琴浦町教委は14日、町立の5小中学校と1幼稚園で16～18日の給食中止を決めた。14日までに給食を介して感染したとみられる児童・生徒はいないという

町立東伯学校給食センターの調理員1人が12日朝、下痢などの症状を訴え、検査の結果、14日に同ウイルス感染が確認された。給食中止は東伯中学校と浦安、東伯、古布

庄、八橋の4小学校、八橋幼稚園。町教委は保護者に、期間中は弁当を持参させるよう通知した

## << 施工報告 >>

エコリーディング

日本アジア証券株式会社内部



## << インフルエンザ情報 >>

インドネシア保健省当局者は7日、中ジャワ州の29歳の男性が鳥インフルエンザに感染して死亡したことを明らかにした。これにより、インドネシアでの感染者総数は94人に達し、ベトナムを上回り、世界最悪となった。死者数も最多の74人。

インドネシアでは今年に入っても鳥インフルエンザの感染拡大が止まらず、過去3カ月余りの間に19人の感染が確認され、うち16人が死亡している。

**\* 発行責任者 株式会社アークフラッシュ本部**

笹川 透

03-5337-7275 FAX 5337-7465 [sasagawa@arc-flash.com](mailto:sasagawa@arc-flash.com)

1号～68号までを配信希望の方はメールにて申込ください。